令和7年度

文化部活動改革（部活動の地域移行に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

栃木県佐野市

自 治 体 名 ： 栃木県 佐野市
担 当 課 名 ： 佐野市 教育委員会 教育総務課
電 話 番 号 ： 0283-20-3106

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	356.04 ㎢
人口	112,515 人
公立中学校数	8 校 ※義務教育学校2校を含む
公立中学校生徒数	2,571 人
部活動数（文化部活動のみ）	16 部活
地域クラブ活動数	7 クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

本市には令和7年度現在、市立学校が24校（小学校16校、中学校6校、義務教育学校2校）ある。児童生徒数が減少していることから、市の適正規模・適正配置計画により、これまで、学校の統合を進め義務教育学校を設置してきた。令和7年度の中学校・義務教育学校後期課程の生徒数は、2,571人（令和7年5月1日現在）である。一方、令和7年度の小学校・義務教育学校の１年生から３年生までの人数は、2,422人であることから、今後ますます生徒数の減少が見込まれる。

令和7年度の休日に活動している部活動数は運動部84部、文化部7部の合計91部活動となっている。運動部活動の団体競技では、部員不足のため十分に練習を行うことができない学校もあり、部活動の取組に苦慮している。地域移行に関しては、《佐野モデル》の計画どおり市内全８校の部活動地域移行（月の休日の半分程度）を進めている。また、休日及び平日の部活動地域移行にむけた取組を推進するため、部活動地域移行推進協議会を開催し、新しい計画「（仮称）部活動地域展開推進計画《佐野モデルⅡ》（計画期間令和8～13年度）」を策定予定である。

なお、運営団体は、令和３年度の取組当初から総合型地域スポーツクラブである「特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ」が担っている。

小学校の児童数（人）　R7.5.1現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
人数	783	807	832	836	843	869	4,970
人数（3学年ごと）	2,422			2,548			

※義務教育学校前期課程の児童数を含む

中学校の生徒数（人）　R7.5.1現在

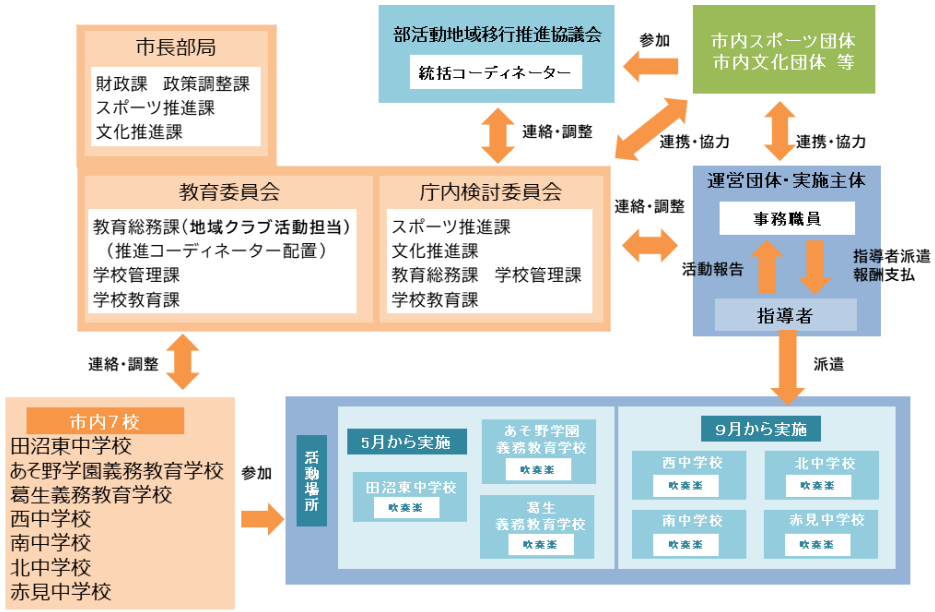
学年	1年	2年	3年	合計
人数	814	866	891	2,571

※義務教育学校後期課程の生徒数を含む

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・教育総務課…部活動地域移行の主管、コーディネーターの配置
　　コーディネーターの役割（学校との調整・連携、運営団体との調整・連携）
・学校教育課…部活動の主管、学校との調整・連携
・学校管理課…学校施設管理の主管、中学生の地域文化活動の環境整備

◉市長部局

・スポーツ推進課…スポーツ活動の主管　　・文化推進課…文化活動の主管
・財政課…予算措置　　・政策調整課…クラウドファンディングの実施

年間の事業スケジュール

令和７年4月	・保護者説明会（３校） ・第1回庁内検討委員会
令和７年5月	・第1回地域クラブ活動推進会議（教職員・指導員打合せ） ・第１回地域クラブ活動 推進研修会（緊急時対応等） ・地域クラブ活動開始（先行3校） ・第1回協議会開催
令和７年6月	・第2回協議会開催
令和７年7月	・保護者説明会（新規４校）
令和７年8月	・第3回協議会開催 ・第２回地域クラブ活動 推進研修会（緊急時対応等）
令和７年9月	・第2回地域クラブ活動推進会議（教職員・指導員打合せ）
令和７年10月	・第2回庁内検討委員会
令和8年1月	・中学生・保護者・指導員・教職員へのアンケート調査 ・第3回庁内検討委員会
令和８年2月	・第4回協議会開催

2.実証内容と成果

文化庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		7 クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		7 クラブ（7 部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		0 クラブ
全体の指導員数	8 人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導員数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
葛生義務教育学校吹奏楽クラブ	総合型地域スポーツクラブ	吹奏楽	・休日 月 2 回程度	9:00～12:00	3年生 2人 2年生 9人 1年生 3人	R7.～R8.3	1 人 県指導者バンク	2 人 (内、兼務 2 人)	無料	中文連及びその他：部活動
佐野西中吹奏楽クラブ	総合型地域スポーツクラブ	吹奏楽	・休日 月 2 回程度	9:00～12:00	3年生 13人 2年生 11人 1年生 8人	R7.9～R8.3	2 人 兼職兼業の中学校教諭・小学校の事務職員	2 人 (内、兼務 2 人)	無料	中文連及びその他：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●特になし

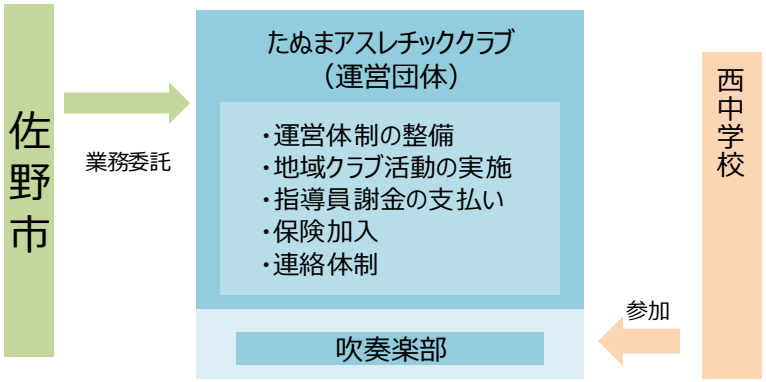
2.実証内容と成果

主な取組例

●西中学校吹奏楽クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	吹奏楽
運営団体名	特定非営利活動法人 たぬまアスレチッククラブ
期間と日数	月２回程度
指導員の主な属性	たぬまアスレチッククラブ指導員
活動場所	西中学校
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者による送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	無料
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導員１人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導員や運営スタッフなどの役割分担等

●自治体

役割：コーディネーターを配置し、運営団体・学校との連絡調整を行う。

●運営団体

特定非営利活動法人　たぬまアスレチッククラブ（総合型地域スポーツクラブ）

役割：指導員の派遣、活動状況の把握、指導員への謝金の支払等を行う。

●地域クラブ指導員　2名

役割：地域クラブ活動の指導を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

文化庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

本市では、以下について取り組んだ。

○ 関係団体・市区町村等の連携調整等に関する取組
○ 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保に関する取組
○ 地域スポーツクラブ活動の運営の効率化等に関する取組
○ 責任主体の明確化に関する取組

取組の成果

・これまでの地域クラブ活動の取組を踏まえ、実際に地域クラブ活動を指導している指導員の意見も聞きたいことから、学識経験者、学校代表、保護者代表、スポーツ団体代表、文化芸術団体代表の他、地域クラブ活動指導員（陸上競技・吹奏楽指導員各1名）を委員とした部活動地域移行推進協議会を設置し年4回協議会を実施できた。
・部活動地域移行推進協議会において、これまでの取組を踏まえ、運営団体・実施主体の組織体制、各団体の責任の範囲等についての協議を行えた。
・ICTを活用した連絡体制を整備することができた。

今後の取組における課題

・協議会において、地域クラブ活動の最終目標はどのようなものなのかという意見をいただいた。最終目標の設定を図るための取組が必要である。
・運営団体等に関する協議は、昨年度から引き続き行ってきたが、地域クラブ活動の認定制度の内容を踏まえ継続して協議している。

課題への対応方針

・協議会で出た意見を反映させて「(仮称)佐野市部活動地域展開推進計画《佐野モデルⅡ》」を策定する予定である。
・地域クラブの目指す姿について、市スポ―ツ団体・文化芸術団体、保護者、学校等と共有するため、積極的な情報発信に努める。



【第1回部活動地域移行推進協議会】

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

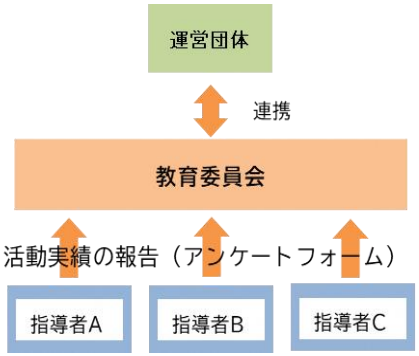
コーディネーターの具体的な動きの実績

・これまでの本市の部活動地域移行は、計画策定前の研究校の取組、「佐野市部活動地域移行推進計画《佐野モデル》」に基づいての実践となる。このことについて、これまでの取組の成果と課題についてまとめ、協議会に示した。
・運営団体や学校を訪問し、課題についての協議や連絡調整を行った。

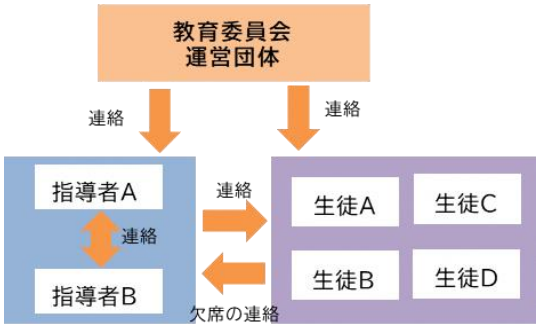
地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

・ICTを活用し、指導員の活動報告、及び運営団体等から生徒へ連絡をする体制を整えた。

＜指導員の活動報告の仕組み＞



＜運営団体等からの連絡の仕組み＞



運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

・本市は、総合型地域スポーツクラブである「NPO法人　たぬまアスレチッククラブ」に運営を委託している。
・たぬまアスレチッククラブは、クラブの規約に定められた運営、スポーツ団体ガバナンスコード〈一般スポーツ団体向け〉に準じた運営を行っている。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

＜初動の対応＞
・地域クラブの活動中に限らず、会場への移動、帰宅中に起きた事故や怪我については、コーディネーターをはじめ、運営団体、学校、保護者が連絡を取り合い、適切に対応している。
＜初動後＞
・運営団体や学校、指導員等と連絡を取りながら対応している。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

指導者の質の保障・量の確保について、本市では、以下に取り組んだ。

○　人材発掘・マッチング・配置に関する取組
○　研修・資格取得促進に関する取組
○　安全・安心な活動の実施に関する取組
○　平日・休日の一貫指導に関する取組

取組の成果

・人材発掘・マッチング・配置に関する取組では、県の指導者バンクを活用し、１名の指導者を確保することができた。吹奏楽の地域クラブ活動においては、兼職兼業の教職員4名（内、市内小学校事務職員１名）を確保できた。
・大学等との連携については、協議会では肯定的な意見を伺えた。
・研修・資格取得促進に関する取組においては、指導員を対象とした市独自の研修を２回実施した。
・安全・安心な活動の実施、平日・休日の一貫指導に関する取組では、部活動顧問と地域クラブ活動指導員と合同の研修を２回実施した。また、部活動顧問と地域クラブ活動指導員の双方が練習に参加する期間を２か月程度設けた。

今後の取組における課題

・大学等との連携について協力が得られたが、大学生に限らず、地域クラブ活動指導員についての課題（資格要件の有無等）に関する対応が十分にできなかったため、応募チラシ等による指導員の募集に至らなかった。
・次年度は外部講師等による研修を行ってはどうかという意見が出た。
・指導員の確保には、文化芸術団体との連携が欠かせないとの意見が出た。
・指導員確保のため、本市における人材バンクを設立してはどうかという意見が出た。

課題への対応方針

・市独自の指導員バンクを令和８年度中に設置することを検討している。
・研修における講師としては、指導技術向上の専門家、生徒指導に対する専門家等が考えられる。今後は、研修に適した講師の選定に努める。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

・教職員や市職員の兼職兼業については、関係部署に確認を取り、手続きの流れを整えた。
・小学校の教職員にも地域クラブ活動指導の募集を行ったところ、事務職員が兼職兼業による指導員となった。

指導員に対する研修の内容

研修名	第2回　地域クラブ活動推進研修会
講師	部活動地域移行推進コーディネーター
研修内容	・令和７年度の地域クラブ活動について ・地域クラブ活動における適切な指導について ・緊急時の対応について ・心肺蘇生法及びAEDの使用について

研修受講者の声

●参加者の声

参加者①
AEDのパットの貼り方、パッドを貼るときには汗を拭くなど、大切なことを教えていただけ、大変ためになった。

参加者②
心臓マッサージを実際に訓練できてよかった。いざとなったら落ち着いて対応したい。



地域クラブ活動推進研修会での心肺蘇生法訓練の様子

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

文化庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

指導員の資格取得促進に向けた取組

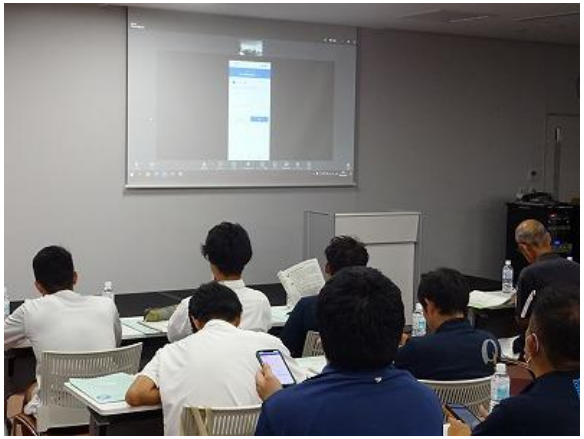
・部活動地域移行推進協議会において、指導員の資格の必要性について意見をいただいた。吹奏楽については、指導に対する資格等がないことから「資格取得が条件となると指導員の確保が難しいのではないか。」との意見が出た。



指導員と部活動顧問の協議

平日・休日の一貫指導に関する取組

・「地域クラブ活動推進会議」において、同一種目の地域クラブ活動ごとにグループを作り、指導方針の共通理解、活動計画等について話し合った。
・地域クラブ活動実施にあたり、部活動顧問と地域クラブ活動指導員が一緒に指導する期間を２か月程度設けた。
・地域クラブ活動指導員と教職員間での連絡体制を整えるため、地域クラブ活動用に本市でICTの連絡システムを整備した。


指導員と部活動顧問間で利用する連絡アプリの研修

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

文化庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

本市では、以下について取り組んだ。

○　文化芸術団体、競技団体、総合型スポーツクラブ、大学、企業等の連携に関する取組

取組の成果

・文化部担当のコーディネーターを１名配置できた。

・市PTA連合会に対して、部活動地域移行推進コーディネーターから本市の取組状況を紹介した。

今後の取組における課題

・本市の文化・芸術団体は、自分自身の趣味で活動している団体が多く、生徒への指導については難しいとの声がある。

課題への対応方針

・機会をとらえて各種文化芸術団体等に本市の部活動地域移行の取組を説明し、理解促進に努める。

・地域クラブ活動指導員に対しても、継続的に部活動地域移行について説明を行う。

関係団体との連携

・市ＰＴＡ連合会の総会の時間に、部活動地域移行推進コーディネーターから、本市の地域クラブ活動の取組について説明を行った。



市ＰＴＡ連合会での説明

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

文化庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

本市では、以下について取り組んだ。

○　市内３校の吹奏楽部の地域移行から、市内7校の休日に活動する吹奏楽部活動の地域移行

取組の成果

・昨年度取り組んできた市内３校の吹奏楽部は、５月からの地域クラブ活動として実施できた。

・9月から月2回の休日を市内7校の休日に活動するすべての文化部活動（本市では吹奏楽部のみ）において、地域移行することができた。

今後の取組における課題

・複数人（2人）の地域クラブ活動指導員が配置できた地域クラブ活動は１クラブのみであった。

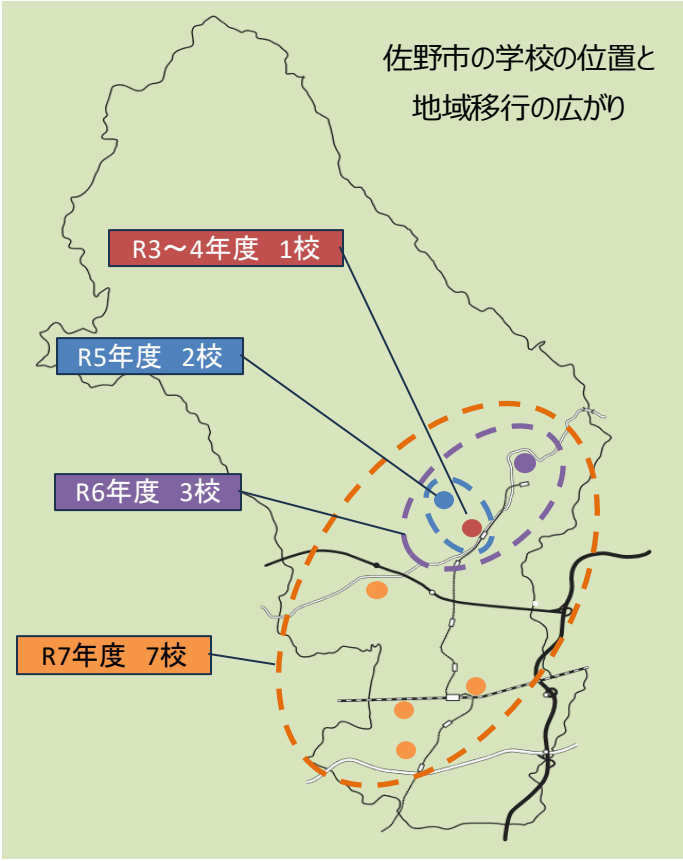
課題への対応方針

・地域クラブ活動指導員について、各種文化芸術団体等と連携しながら確保に努める。

・部活動地域移行推進協議会において、活動場所までの生徒の移動について協議を行ったが、継続して協議することを確認した。

市内7校での地域クラブ活動の実施

・令和３年度から順次地域クラブ活動に取り組み、令和7年9月から市内7校の吹奏楽部の地域移行を開始した。



【面的な広がりの様子】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

文化庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

本市では、内容の充実のため、以下のことに取り組んだ。

○　生徒、保護者、学校や関係団体の関係者等の理解促進のための広報活動

取組の成果

・中学校１年生及び義務教育学校7年生保護者向けの説明会を各校１回ずつ実施できた。
・部活動地域移行の取組を市ホームページを通して周知できた。

今後の取組における課題

・令和7年度から部活動の地域移行に取り組んだ学校があることから、地域クラブ活動の趣旨を理解してもらうため、今後も継続して説明会や周知を行う必要がある。

課題への対応方針

・学校と日程調整を図り、コーディネーターによる保護者説明会を継続して行う。
・ホームページの充実を図り、周知に努める。

周知・広報活動

・各校と日程を調整し、本市の部活動地域移行の取組について、保護者説明会を実施することができた。



【部活動地域移行推進コーディネーターによる保護者説明会】

【佐野市ホームページ】
佐野市立中学校・義務教育学校の
部活動地域移行について

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

本市では、参加費用負担の支援等において、以下のことに取り組んだ。

○ 部活動地域移行推進協議会、庁内関係課との連携を通して、適切な会費の設定・徴収方法の検討、収支構造の検討を行う。

○ 庁内各課と連携し、クラウドファンディング、基金の創設、ふるさと納税の活用等を図りながら財源の確保を行う。

今後の取組における課題

・部活動地域移行推進協議会において、保護者の費用負担の必要性については共通理解が図れたが、具体的な徴収時期、金額等の決定には至らなかった。

・困窮世帯への支援については、確実に行うための方法を検討することとした。

・クラウドファンディングを通した部活動地域移行の取組の周知を強化する必要がある。

取組の成果

・部活動地域移行推進協議会において、保護者の費用負担の話合いを行うことができた。今後も継続して協議することを確認した。

・教育振興基金を設置し、750万円積み立てることができた。

・「部活動地域移行応援プロジェクト」として、クラウドファンディングを実施し、約835万円の寄付が集まった。

課題への対応方針

・全校で地域クラブ活動を実施できたことから、保護者の費用負担について本市としての方針を示していきたい。

・クラウドファンディングは、目的をはっきりさせて今後も継続して実施したい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

文化庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

収支バランス

・部活動地域移行推進協議会において、収支バランスについて検討したものの、負担割合等の詳細な話し合いはできなかった。
・以下の内容について部活動地域移行推進協議会に示し、意見を伺った。

＜経常的にかかる費用＞
◎学校部活動と同等の負担と考えられる項目
・個人で利用する消耗品　・会場使用料　・試合や大等への登録料　・ボール等の消耗品
◎地域クラブ活動による新たな負担と考えられる項目
〇個人に関する負担（参加者からの徴収も想定するが、一部公費負担も検討する項目）
・保険料（生徒、指導員）　・メールシステム使用料　・指導員謝金　・指導員交通費
〇公費負担として考えられる項目
・コーディネーター等の人件費　・事務費（謝金の振込手数料等）
＜臨時的にかかる費用＞
・県大会等への遠征費の一部支援　・備品や楽器の購入費、修繕費
※臨時的にかかる費用については、基金による積立を行う。

＜委員の主な意見＞
・どのような形態で地域クラブ活動を運営するのか。
・楽しさや体験を目的とした地域クラブ活動において、保護者が費用を支払おうと思えるのか。
・会費の負担が生じることは理解できるが、今まで部活動の指導について謝金を支払うことがなかったので抵抗を感じる人がいるかもしれない。



【第２回部活動地域移行推進協議会】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

文化庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

本市では、学校施設の活用等において、以下のことに取り組んだ。

○　学校施設や備品等の利用のルール等を検討する。

取組の成果

・学校内の音楽室で学校の楽器を利用し地域クラブ活動を実施した。
（施設使用料は、無料）

今後の取組における課題

・校舎内を利用した地域クラブ活動もあるため、
校舎の管理（学校施設の鍵の開閉）に課題がある。

課題への対応方針

・校舎の鍵の開閉については、教職員以外の人員の派遣、警備会社等への委託を検討する。
・学校以外の場所での吹奏楽の実施について検討する。

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

・音楽室で活動する吹奏楽の場合、学校職員の立ち会いが必要となり、管理職が校舎の開け閉めを行ったケースが多くあった。そこで、今後の休日の完全な地域展開を見据え、適切な施設管理の在り方を検討していく。

用具使用・管理等における取組

・休日の２回は地域クラブ活動、残り２回は部活動のため、部活動で利用する用具等をそのまま使用した。



学校の音楽室と楽器を利用した活動

2.実証内容と成果①

文化庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

・「佐野市部活動地域移行推進計画《佐野モデル》」の活動目標「令和８(2026)年度の本格実施を目指し、佐野市立中学校・義務教育学校（後期課程）のすべての部活動について、休日の活動の半分を地域クラブ活動に移行します。」については、達成できたと捉えている。

市内１校からスタートし、２校（令和５年度）、３校（令和６年度）、７校（令和７年度）と計画的に部活動の地域移行に取り組んだことで、本市における課題が明確になってきた。

また、地域クラブ活動に参加している生徒は、地域クラブ活動において、「体力・技術が向上している」、「指導が分かりやすい」の他、「他校の生徒と交流ができるので楽しい」など、地域クラブ活動ならではの意見もある。

教職員においては、７割以上が、自身の負担軽減に繋がったと感じていることが分かった。現在は月の休日の半分程度の地域クラブ活動の実施であることから、すべての休日に地域クラブ活動を行えるよう取組を推進していきたい。

●成果の評価

・地域クラブ活動指導員の不足が課題としてあった。教職員の兼職兼業の手続きも整い、今年度は市内小学校（義務教育学校前期課程）の教職員にも兼職兼業による指導員を募集したところ、小学校の事務職員１名の希望があった。

・財源の確保として、教育振興基金を設置し、クラウドファンディングを実施することができた。

・生徒の意識調査において、「次年度も休日の地域クラブ活動に参加したいと思いますか。」との質問において79.4%の生徒が参加したいと回答した。

・保護者の意識調査において、「次年度も休日の地域クラブ活動として実施してほしいですか。」との質問において76.3%の保護者が実施してほしいと回答した。

・教職員の意識調査において、「御自身の負担軽減につながりましたか。」との質問において71.2%の教職員が負担軽減につながったと回答した。

●今後に向けて

・休日の完全な地域移行を見据え、生徒が希望する地域クラブ活動に参加できる体制づくりが必要である。

・活動場所の確保と施設管理については、今後の休日の完全な地域移行を見据え、適切な施設管理の在り方を検討する必要がある。

・活動場所への移動手段については、関係機関と協議し、改善を図っていく必要がある。

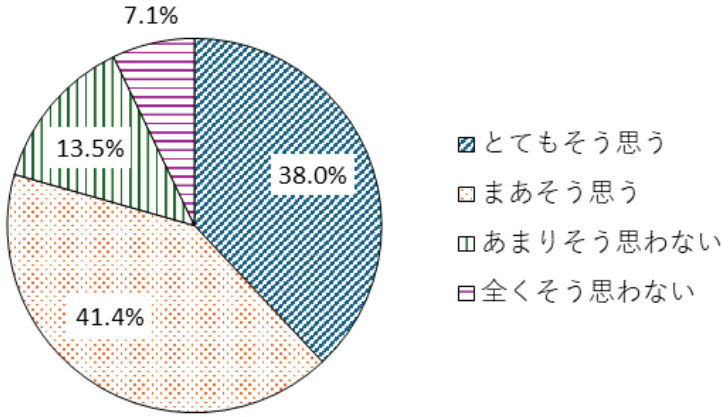
・指導員の確保については、今後も課題であることから、指導員の公募の在り方、指導員の資質の確保のための資格要件の設定、市独自の指導員バンクの設立を検討する必要がある。

2.実証内容と成果②

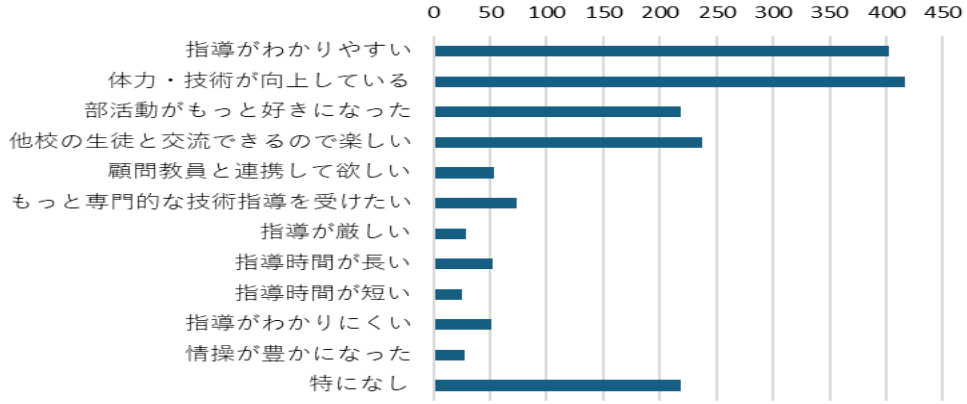
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果（地域クラブ活動に参加している生徒）

Q.次年度も地域クラブ活動に参加したいと思いますか？（回答数：917名）



Q.地域クラブ活動に参加してどのように感じていますか?（複数回答）



●参加者の声

中学2年女子
今とても楽しく活動しているのでこれからも継続してほしい。

中学1年男子
祝日なども行なってほしい。

中学1年女子
顧問の先生とはまた違う感じで指導してくれるし、先生達も土日にわざわざ学校に来る必要がなくなるのでよいことだと思う。

中学2年女子
大会が近い月は自分たちなりの方法で部活動を進めたい。

中学1年女子
顧問と地域クラブの先生の意見が違っていたりするので連携をしてほしいと思う。

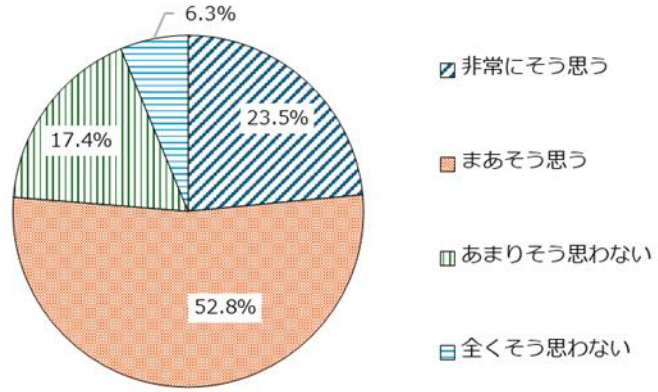
栃木県が実施した「令和7(2025)年度休日の地域クラブ活動に関するアンケート」（実施期間　令和8年1月5日～16日）における佐野市の回答結果

2.実証内容と成果②

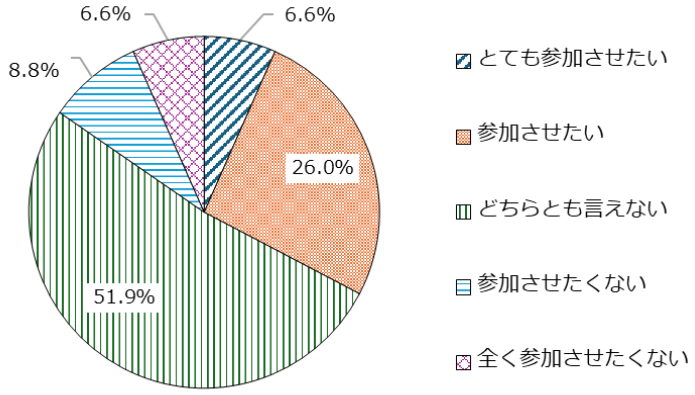
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果（全保護者）

Q.次年度も休日の地域クラブ活動として実施してほしいですか?
（回答数：430名）



Q.地域クラブ活動に参加する際に保護者負担があっても
参加させたいですか?（回答数：649名）



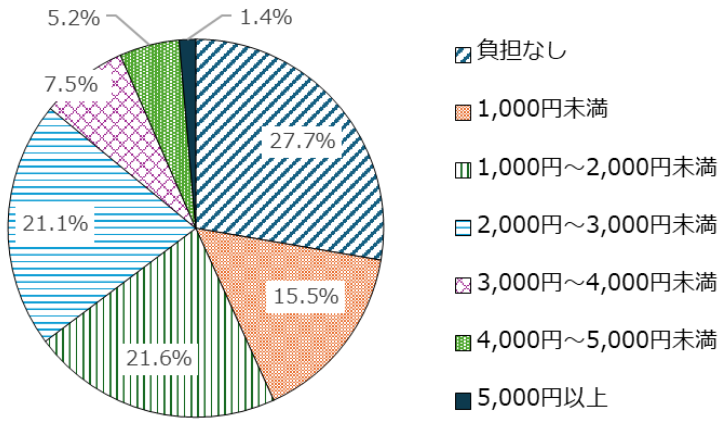
●保護者の声

保護者（2年女子吹奏楽部）
先生方が勤務時間外でやってくださっているのを是正すべきと思います。先生方には休日はしっかり確保した上で、本来の業務にあたっていただくのがよいと思う。

保護者（１年女子吹奏楽部）
吹奏楽だと休日の部活動の地域移行は難しいと思う。

保護者（１年女子吹奏楽部）
できるだけ本人が通える範囲内でお願いしたい。

Q.休日の部活動が地域移行をする場合、保護者の負担額
（月額）はどの程度が妥当と考えますか?（回答数：649名）



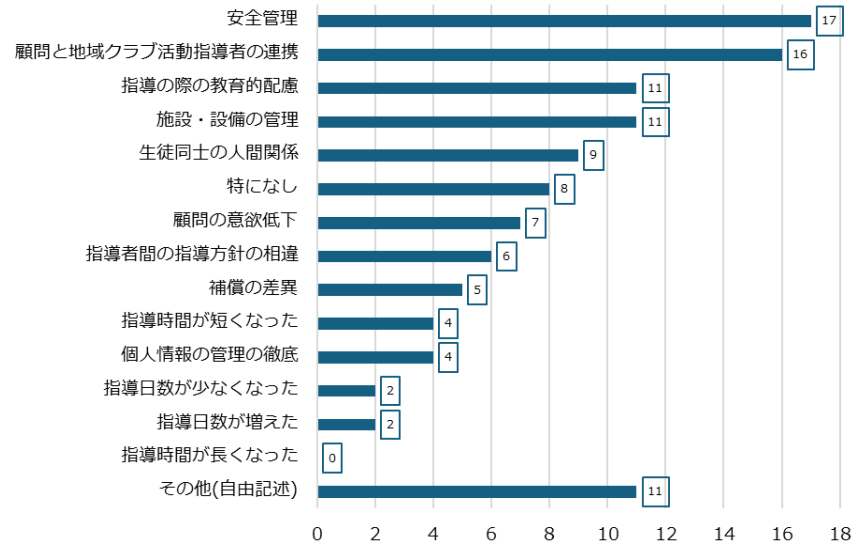
栃木県が実施した「令和7(2025)年度休日の地域クラブ活動に関するアンケート」（実施期間　令和8年1月5日～16日）における佐野市の回答結果

2.実証内容と成果②

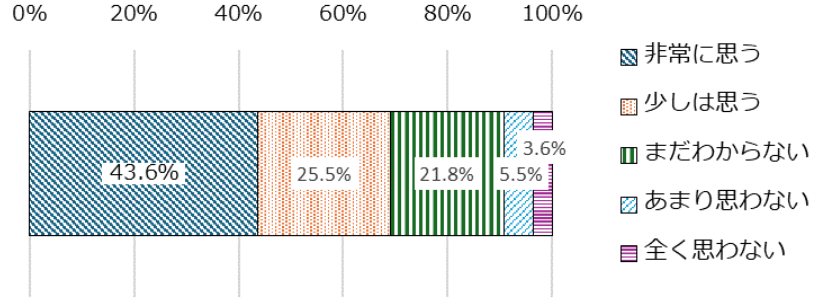
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果（指導員全員）

Q.休日の地域クラブ活動を実践しての課題は何ですか？（複数回答）



Q.次年度も地域クラブ活動指導者として指導に携わりたいですか?
（回答数：55名）

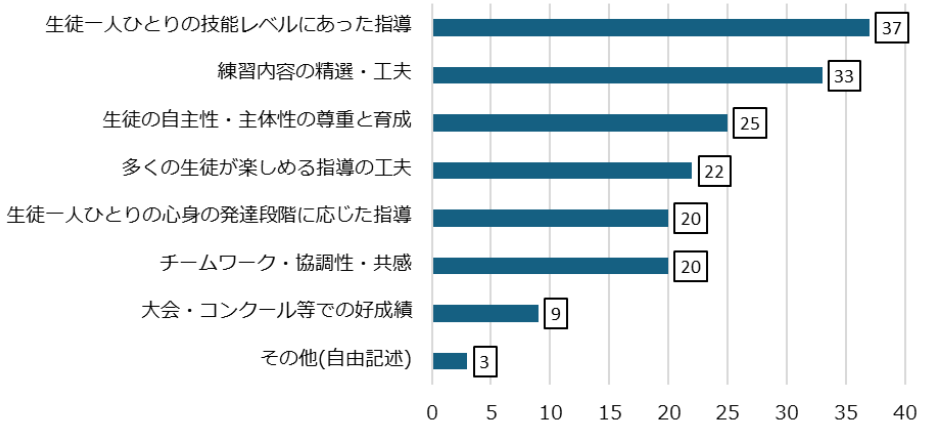


●参加者声

指導員
市町にて一斉に取り組める競技については、必要経費等を市町と保護者等で負担して、市町単位で取り組めるとよいと思う。また、文化部等についても、発表の場があるとよい。

指導員
地域移行をどんどん進めるべき。コミュニティ・スクールであることから、地域の指導員が学校に入り、指導員の学校での活躍の場が増えていくとよいと考える。

Q.休日の地域クラブ活動の指導にあたり特に重視していることは何ですか？
（複数選択可）



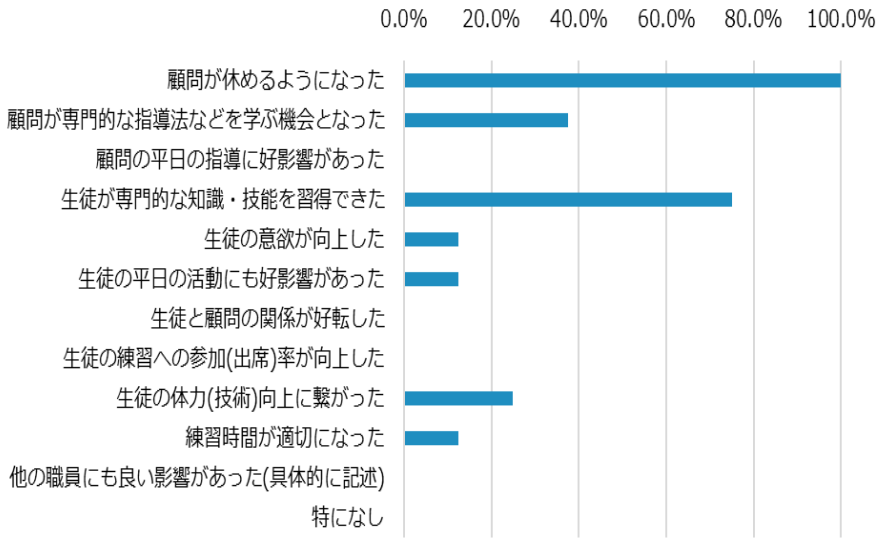
栃木県が実施した「令和7(2025)年度休日の地域クラブ活動に関するアンケート」（実施期間　令和8年1月5日～16日）における佐野市の回答結果

2.実証内容と成果②

アンケート結果･参加者/関係者の声

●アンケート結果（校長）

Q.地域クラブ活動を実践してよかった点は何ですか?（回答数：８名）



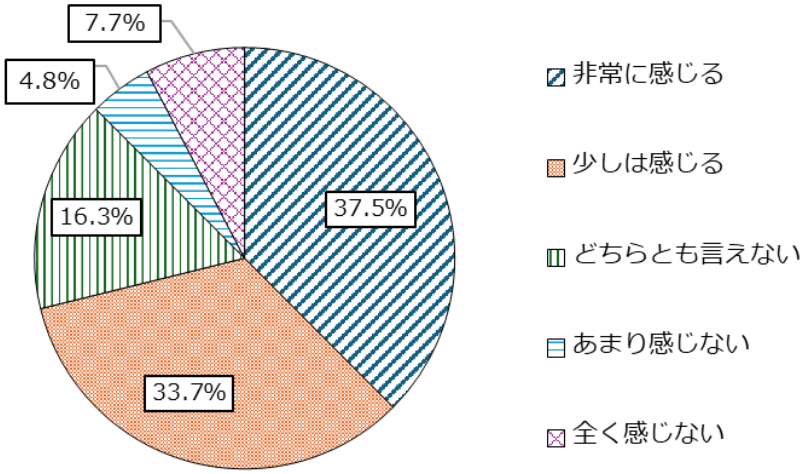
●参加者の声

校長
可能であれば完全に地域移行にして兼職兼業を希望する職員は指導してもよいが、平日に指導できる地域指導員はなかなか見つからないと思う。

校長
生徒の活動の場の確保と教職員の負担軽減のためぜひ進めて欲しい。

●アンケート結果（部活動地域移行に関わる教職員）

Q.御自身の負担軽減につながったと感じますか?（回答数：104名）



●参加者の声

吹奏楽顧問
地域移行において学校で活動する場合、鍵などの管理も教職員が行わないようになるとさらによいと思う。

吹奏楽顧問
早く地域移行を進めてほしい。休日に限らず、平日の地域移行も進めてもらいたい。

栃木県が実施した「令和7(2025)年度休日の地域クラブ活動に関するアンケート」（実施期間　令和8年1月5日～16日）における佐野市の回答結果

2.実証内容と成果③

文化庁

参考資料



【あそ野学園義務教育学校の活動】



【北中学校の活動】



【西中学校の活動】



【南中学校の活動】

2.実証内容と成果④

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和３・４年	令和５年	令和６年	令和７年
地域学校部活動、 地域クラブ活動開始 （市内１校）	協議会設置及び協議 計画策定検討開始 学校現場との調整 保護者への説明 地域クラブ活動の実施 （市内2校）	協議会による協議 地域クラブ活動の実施 （市内3校）	協議会による協議 地域クラブ活動の実施 （市内7校）

●ステークホルダー

学校、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会、競技団体
市長部局、市教委、総括コーディネーター、部活動地域移行推進コーディネーター

●経過

令和3年度の「地域部活動推進事業」において、田沼東中学校が拠点校となり、総合型地域スポーツクラブたぬまアスレチッククラブを運営団体として、吹奏楽部の月2回の休日を地域部活動として実施した。（令和3･4年度）

令和5年度には、あそ野学園義務教育学校を加えた市内2校の吹奏楽部を地域クラブ活動として実施した。また、市教育委員会への部活動地域移行推進コーディネーターの配置、部活動地域移行推進協議会を設置した。さらに、市内全校の休日に活動している部活動において、月2回の休日を地域クラブ活動とするため、部活動地域移行推進計画《佐野モデル》を策定した。

令和6年度は、葛生義務教育学校を加えた市内3校の吹奏楽部を地域クラブ活動として実施した。

令和7年度は、5月から市内3校、9月からは4校が加わり、市内7校の休日に活動する吹奏楽部において、月2回の休日を地域クラブ活動として実施できた。

●実施にあたって生じた課題

地域クラブ活動指導員の不足が大きな課題として指摘されている。市内の文化芸術団体との具体的な連携については取り組めていない。兼職兼業による指導員の募集等を行っている。

楽器の移動、校舎の鍵の開閉、財源や移動手段については、継続的な課題となっている。

●実施内容、工夫した点 等

地域クラブ活動指導員の確保のため、小学校の教職員にも兼職兼業による地域クラブ活動指導員の募集を行った。小学校の事務職員が、地域クラブ活動の指導員として活動している。

指導員の確保に課題があることから、市独自の指導員バンク設置に向けて協議をしている。また、財源確保のため、教育振興基金を設置し、クラウドファンディングにより資金を確保することができた。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

組織・団体	内容	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
市	協議会	部活動地域移行推進協議会の開催（年3回程度）			
	計画	計画策定準備	部活動地域移行推進計画《佐野モデル》		
			第2期計画策定準備		第2期計画
	連絡ツール		連絡用ＩＣＴの導入・活用		
	基金等			基金の設置・クラウドファンディングの実施	
	指導員				指導員バンク設置の検討
	その他	新しい課題への対応			
		関係者への周知・協力依頼			
市・運営団体	指導者	指導者の確保・研修会の実施			
				教諭スタッフの配置	
学校	2校＋陸上競技部	月2回の地域クラブ活動			
	3校＋陸上競技部		月2回の地域クラブ活動		
					すべての休日の地域クラブ活動実施に向けた試行
	全校全部活動			月2回の地域クラブ活動	
				試行期間	月2回の地域クラブ活動本格実施
	教職員		兼職兼業による地域クラブ活動への参画（R7年度からは市内小学校にも拡大）		
	体育館等の管理		キーボックスの利用		
	校舎の管理		適切な方法の検討		